



コミュニティ しずおか

2022

4月

No.166



市内の落書き箇所を事前調査し消去活動をしている

自分たちの想いや夢、活動を実現する為に クラウドファンディングに挑戦

熱海コミカレ・ねっとわーく（熱海市）

▼今年で満29年を迎える熱海コミねっとは、長年熱海市内の落書き被害調査や消去活動を行っている。この度、橋本代表の発案で活動資金を募るためクラウドファンディングに挑戦した。地元のボランティア活動がプロジェクトとして馴染むのか不安もあったが、大きな初期費用が掛かるわけでもないので、大胆にも30万円の資金調達額を目標に掲げると、多くの方から温かいご支援を賜り192,500円の資金が集まった。

▼コロナ禍により活動が中止になっているが、寄付をしてくれた方と一緒に落書き消去活動ができる事を楽しみにしている。

◇代表：橋本一実さん（問合せ・0557-81-7755）

【情報提供・大熊タイ子】

Topics トピックス

地域訪問記 P2・P3

二社殿冬海中みそぎ祭り保存会（沼津市）

地域訪問記 P6

美しい富士山を麓から守る（富士市）



のりづき・りえ

コミック



「いやさか」の掛け声で神輿を高く上げる。例年は2基のお神輿が出るが、コロナ禍の為昨年に引き続き1基でご神事を行った

男が男をみがく祭りを復活！

厳冬海中みそぎ祭り

沼津市

二社厳冬海中みそぎ祭り保存会

沼津の「お宝100選」にもなっている伝統行事「厳冬海中みそぎ祭り」。牛臥山公園・小浜海岸で、毎年成人の日前後に行われる正月一番のお祭りです。三島大社に並ぶ格式の古社である楊原神社・大朝神社の例大祭ご神事でしたが、空襲による社殿や神輿の消失により途絶えてしまった時期があります。2001年に祭りは復活。祭りの再興にあたり、火付け役となった保存会の事務局原田武虎さんにお話を伺いました。

みそぎ祭りを再び

県外から沼津の地に移り住み沼津港でお店を設けた原田さんは、古い神社仏閣・歴史が好きなことから、地域に冬の例大祭があることを知っていましたが

途絶えていたことは知りませんでした。

老人会の会長との話をきっかけに宮司を紹介され、元来の祭り好きもあったことから早速復活に向けて計画。氏子総代や地域の古老に話を聞きに行

き、新聞社を呼びPR活動を進め、半世紀ぶりとなる祭りが復活しました。

お叱りを受け今がある

無事終了。のはずでしたが、氏子総代の方々は承知していたものの、各自治会にはちゃんと伝わっていなかったことからお叱りを受けました。もちろん復活を喜んでくれた方もいましたが「叱っていただいたから、出会いがあり、続けてこられた」と原田さん。頭を下げに回る中でちゃんと保存会を立ち上げ、地域の方の協力を得て、地域と共に再興していこうと決めたそうです。

神男(かみお)は男の心を変える

毎年神輿を担ぐ「神男」は募集をかけ、厄年又は年男、新成人を優先に選びます。また、Facebookを見たお祭り男たちからの神男希望も受け入れています。記念に目立ちたい等の軽い気持ちで参加する人もいますが、神輿を担ぎ町に出ると多くの注目を浴び、拝まれながら見送られ、そして冷たい海に入り神の禊ぎを受けと、終わった時の清々しさと沿道の歓声から湧き上がる神男の使命感。今までになかった自分を発見できるようです。

祭り継続のために

保存会では保存継承のために、他地域の祭りの良い所を勉強し、5年前から稚児行列を新たに設け、世代ごとと祭りに参加できる仕組み「稚児行列→子ども神輿→本神輿」を作りました。地域住民が参加しや



「神男」の皆さん。21回目となる今年は2人の新成人が参加

コロナの為
餅まきならぬ
餅渡しに変更



神社に飾るしめ縄を作る氏子総代の皆さん

すい仕組みを作り、次世代を巻き込むことは、コミュニティ活動の軸であり努力しなければならない課題であります。子どものころ憧れた本神輿を大人になったら担げるストーリー戦略はすばらしいと思いました。

コロナ禍で

コロナ禍を理由に活動が中止になる中、みそぎ祭りは原田さんという自称“祭り馬鹿”がいるからコロナ禍でも誰も止められない。やれやれと思いながら協力する人もいるかもしれません。でも活動続けるにはそんな人も必要なのかと思います。原田さんの話しは勢いがあり、自分の思いを貫く強さも感じました。それは冷たい海に何度も入った男の強さなのか…。

我が息子に聞いてみた「神男になって海に入る？」

「無理!!」

「海に入って男になれ!!」

母は心の中で強く叫んだ。

◇会長：岩崎英亮さん

(問合せ・080-5297-0845(事務局 原田さん))

【情報提供・田邊高典】



レポート 市川頼子 編集委員



松崎町

河津桜から広がる地域貢献活動

河津桜
ボランティアセンター

▼日本で有数の桜まつり「河津桜まつり」で、来場者の対応や混雑状況の発信などを行っている河津桜ボランティアセンター。お祭りのスタッフの一員として従事していた玉木代表が、車いす等で来場される方への快適性を高めようと平成27年に有志が集まり活動を始めた。

▼災害ボランティア活動をしていた代表の繋がりや、40代の多才な会員10人が市町を越えて集まり、幅広い内容と場所で活動を行っているのが特徴。秋から春にかけて桜まつりの準備を進め、それ以外の時期も集まった力を地域に活かそうと、ごみ拾いや防犯パトロール等を行う。また、会員の防災や福祉に関する知識、ネットワークを活かして、熱海市伊豆山での土石流災害被災者支援や新型コロナウイルス感染者支援にも力を入れている。

▼感染者支援にあたっては、プライバシーに配慮し、感染防止のために相対せず行っている。そのため支援を受けた人から直接反応を得る機会は少ないが、公的機関等に相談、依頼しにくいことを手助けしてくれる細やかな活動に感謝する声は多く、活動の励みになっている。



Twitterで鮮度の高い情報を発信している

◇代表：玉木優吾さん
(問合せ・090-9902-9209)
【情報提供・富川あおい】

函南町

町社協から羽ばたき自主運営に挑戦

暮らしの応援隊



依頼の多い室内清掃

▼令和2年、山間に位置し高齢化が進むダイヤランド地区に、ご近所の困りごとを共に解決、軽減する生活支援の応援隊が発足した。現在、男性6人女性5人の隊員が、主にゴミ出しや室内清掃、草取り、薬の受け取りだが、衣類の処分や電子レンジの設置等、痒い所に手が届くような依頼にも応えている。

▼当初は、町社協の下での活動だったが「自主運営の方が地域にあった活動ができるのではないかと」と独立の準備をしている最中に、隊員が運転ボランティアの講習を受けたことから、自分たちでも移動支援が出来る事がわかり、まずはやってみようとの4月開始を目指している。財源は、さわやか財団から支援をいただき、車は隊員の車4台を使用する。

▼「依頼を積み重ねると、利用者との間に信頼が生まれていくのが嬉しい」と郷代表。目下の課題は仲間を増やすことである。

住民同士が「お互いさま」という気持を行動に表わし、支えあいに繋げて快適な暮らしを目指していく。

◇代表：郷 千恵子さん (問合せ・070-7584-2022)

【情報提供・虎尾恵美】

裾野市

空き家活用の新しい事例

シェアプレイス
susono towa



畳イスを製作する学生たち

▼裾野市岩波駅近くの「シェアプレイス susono towa」は、空き家対策と空き家を活用できる人材の育成を目的とし、地域に開かれた運営をしている。現在、焙煎珈琲販売店と文具雑貨店等が入居し、ワークショップや地域密着イベントを企画している。

▼令和2年、築50年の空き家を活用できる状態にするため、関東の建築学生団体「wACKA」がリノベーションを着工。メンテナンスを含めた工事を今後も継続することで、建築学生たちも世代交代しながら地域と関わり続けるというユニークな仕組みになっている。昨年10月には、学生たちが施設内に置く棚の組み立てとペイントのイベントを主催し、イベント報告を回覧板で回した。

▼文具雑貨店オーナーの加藤さんがコミュニティマネージャーとして、地域との交流を活発化させている。年初から始まった「いわなみマーケット」は地域の子ども連れがたくさん集まった。今後定期的に開催し、

地域との絆を深めていく予定。※次回5/15第2回いわなみマーケット開催します！

◇コミュニティマネージャー：加藤照美さん (問合せ・tekutekuanyo@gmail.com)

【情報提供・志田忠弘】



菊川市

菊川で楽しめる気軽なカルチャー講座

キクルデツクル

▼菊川市庁舎東館プラザきくるでは、一人でも気軽に参加できるカルチャー講座を開催している。主催する「キクルデツクル」は、ペーパークラフト作家、料理研究家、手芸作家等地元の方が講師となり、世代を超えた新たな交流の場を提供し地域活性化につなげようと活動している。

▼きっかけは、ペーパークラフト作家の塩澤代表が、自身の活動を広げる相談で菊川市民協働センターへ通う中「人材はいるのに教える人も教わる人も市外へ行っているのもったいない、市内で開講すれば双方良いはずだ」と発起し、仲間を集め令和2年に開講。コロナ禍でのスタートとなると「苦労」が頭をよぎるが、状況を見ながら少しずつ発進が出来たこと、少人数制となりかえってしっかりサポートできたと言う。

▼学校の長期休暇にあわせ、地元の講師が様々な親子で楽しめるワークショップも実施。今後は、コロナ禍で外出を控えがちな方や、外国人も含む全ての子どもたちにも、気軽に楽しめる場の提供を目指している。

◇代表：塩澤恵美さん（問合せ・090-9186-4038）



ハロウィーン企画のクッキーづくり

【情報提供・笠原活世】

森町

ボディートークで心と体をリフレッシュ

ボディートークを
楽しむ会



コロナ禍で声出しは止めている

▼「いつでもどこでも誰とでも」を合言葉に会員が自ら楽しみ、町民の健康向上を目指しているボディートークを楽しむ会は、ピンクのユニホーム姿から「森町のピンクレディー」と呼ばれている団体である。平成17年に発足し、森町ボランティア連絡会に登録。現在会員15人。お互いの手足や体を優しくほぐしたり、動きに合わせて「ア〜」「ホッホッホッ」等声を出したりして、楽しくリズムカルに体を動かすのが特徴である。

▼毎月第2月曜日には、町民の方を対象にした「楽しむ会」を実施し、たっぷり2時間リフレッシュする時間を過ごしている。コロナ禍により、1人でほぐす運動が中心になった。1人でもできる動きはたくさんあるが、早くコロナ前に行っていた2人組、3人組、複数人での動きを皆で楽しみたいと会員一同願っている。

※地域のシニア会や3世代交流会、幼稚園など要望があればどこへでも駆けつけます。

◇代表：相羽保子さん（問合せ・0538-85-3624）

【情報提供・山田勝恵】

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（<http://www.sizcom.jp>）

No.	市 町	活 動 名	主 催 者	趣旨・目的	月 日
1	伊東市	傾聴ボランティア養成講座の開催	傾聴ボランティア ハートピアいとう	在宅での必要な方に傾聴活動の軸足を移している。	養成講座：年1回 定例会：偶数月
2	焼津市	子どもたちの安全を守ろう	東益津小学校 安全パートナー	小学校及び公民館と連携し、安全を確保する 目的で安全ボランティアを結成。	通年
3	磐田市	地域づくり・まちづくりと 子育て・青少年健全育成	NPO法人 磐田まちづくり ネットワーク	市民活動の啓発推進、市民活動団体・行政・ 事業者との連携や協働のあり方について調 査・研究し、まちづくりを支援。	月曜日を除く 9:00～17:30
4	浜松市	地域の皆さんに美味しいお弁当を！	なずな工房	地元産の農作物を利用したの食事作りJA遠州 中央の直売所での販売。	週6回

地域訪問記

団体の継続に着目し紹介します。



笹場でGWに主催する「おおぶちお茶まつり」今年は中止です



まちなかから山林まで広範囲にわたるグリーン作戦



大淵公園での植樹作業

美しい富士山を麓から守る

大淵まちづくり協議会（富士市）

富士山頂から47km²にわたる広大な面積を持つ富士市北東部に位置する大淵地区（約5289世帯）。茶畑越しに人工物が写らない富士山の撮影スポットとして全国から写真愛好家が訪れる「大淵笹場」が有名です。しかし、富士山の麓ゆえに不法投棄が後を絶たず、地域の悩みとなっています。2006年、富士山麓にふさわしいゴミのない、花と緑あふれる地区にしようと環境監視パトロール「グリーン作戦」を始めた大淵まちづくり協議会の会長勝亦さん、副会長の久保田さん、藤田さん、センター長の村嶋さんにお話を伺いました。

心を一つに頑張ろう・グリーン作戦

看板設置や各種団体などによる毎月の不法投棄防止パトロールに加え、毎年11月末に開催されるグリーン作戦は、大淵まちづくり協議会の大事な事業の一つ。22の町内会から1000人を超える住民が参加するほか、工業団地や学校、病院に施設周辺の清掃をお願いするなど、地区全体が心を一つにして活動をしています。

一人では手に余るゴミに「手を貸して」と声掛けする場面も多く、連帯感が生まれたり町内の方を知る機会にもなったりしています。

当日、住民は町内会ごとに決められた箇所を担当。回収場所となっている大淵公園グラウンドには、時間の経過と共に分別されたごみの山が出来上がり、待機していた市のクリーンセンターのトラックに回収され終了。昨年11月28日に開催された「第16回グリーン作戦」では、1386人が参加し1630kgのゴミを回収しました。

7,360kg→1,630kg

第1回目からの実施結果を拝見すると、この15年間で廃家電やタイヤ等が減っているのが一目瞭然。しかし、全体的な回収量は減少しても、1年後に撤去した場所や禁止看板の足元に投棄されたゴミを見つける度に「また捨てられたのかと気落ちするのめ度々」と聞き、心情を察するとともに諦めず地道に活動する皆さんに頭が下がる気持ちでいっぱいになります。「不法投棄ゼロ計画」の目標を地域全体で共有し、大淵の景観を守る思いが、この活動を支えているのだと感じます。

緑とピンクの富士山裾模様

ゴミのない、花と緑あふれる地区をめざす大淵地区では、同時に「みつばつつじの里づくり」も進め「3万本植樹計画」と題し、平成19年から大淵公園や地区内への植樹に取り組んでいます。花の見頃は4月から5月。茶畑の新緑に加えてみつばつつじの淡いピンクで彩られる大淵地区仕込みの富士山の裾模様がみられる日が待ち遠しいです。

不法投棄ゼロ計画達成への道のりは、まだ遠いかもしれませんが、きれいな所にゴミは捨てにくいもの。みつばつつじの数が増えるごとにゴミの回収量が減っていったら本当に素敵ですね。

◇代表：勝亦徳明さん

【情報提供・齋藤立己】

レポート：海野ふさ子 編集委員

コミュニティ・フォーラム2022
を開催しました
**どうやってつなぐ？
大切なコミュニティ**
2022年2月12日(土)
12:30～15:40
御前崎市市民会館



オミクロン株の流行に伴い次々と地域コミュニティの催しが中止となる中、当協議会も開催の可否についてギリギリまで悩みました。フォーラムは、課題解決に向けてコミュニティ活動を全県に広めていくという趣旨で開催しており、コミュニティ活動を推奨する団体として「安全に開催する為に何が出来るのか考えるべき」という思いから、今年度は時間を半日と短くし、YouTubeLive配信、会場参加は関係者と御前崎市民のみという条件で開催しました。当日は関係者を含め92人が参加し、皆で支えるコミュニティについて今私たちに何が出来るのか考えてみました。

トークショー

御前崎市出身で、オリンピック3大会に出場された飯塚翔太選手をお迎えし、オリンピックの裏話から未来ある子どもたちに地域の大人はどのように働きかけたか良いのかまで、あらゆる質問にお答えいただきました。



**活動発表・
ディスカッション**
コミュニティ活動
賞受賞の3団体と
御前崎市内で活動
する団体に活動に
対する思いを語っ
ていただきました。



常務のつ・ぶ・や・き (瀧常務編 最終回となります)

以前、テレビを保有しない若者に世代間ギャップを覚えた筆者であるが、最近、テレビをつける時間が少なくなった自らの変貌ぶりが可笑しくも感じる。面白そうなネーミングに釣られ「フランス人は10着しか服を持たない」という本に出合ったのがきっかけだ。

ワードローブが10着とは極端な話に思えるが、そう考える人は現代の物質主義にどっぷり浸っている人に違いない。確かに、次々と物欲を満たすことは快感だ。でも、自分の生き方に自信があれば似合うスタイルも決まってくるし、大好きな物を大切に使うことの方がよっぽど満足感が大きい。そうすれば装いや身だしなみだけでなく、日々の生活の楽しみ方まで、これまで当たり前と思っていたことが非常識に思えてくる。

テレビ番組に何時間も興じる代わりに好きな本を読む、ダイエットを気にすることなく旬の食材を美味しくいただく、休日に家でゴロゴロするより外出し文化的視野を広める、持ち物は点数ではなく質にこだわる。考えるだけで力がみなぎってくる。

サァー始めよう 質の高い豊かな生活を コミュニティづくりを!



編集・発行

地域情報をお寄せ下さい!

静岡県

コミュニティづくり推進協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70

総合社会福祉会館3階

【TEL】054-251-3585

【FAX】054-250-8681

【URL】<http://www.sizcom.jp>

【E-mail】sizucom0829@po.across.or.jp



地域活動に関心のある方へ!

募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

活動資金の一部を助成します!

★コミュニティ活動集団育成事業★

趣 旨

この事業は、人々が協力し合って住みよい地域をつくるために活動する集団を「コミュニティ活動集団」として2年間指定し、活動に必要な経費の一部を助成することによって、地域の先導的役割を担う活動集団の育成支援を行うものです。

指 定 の 期 間：毎年度4月から次年度3月までの2年間とします。

活動経費の助成：募集集団数15集団。活動経費として1集団当たり、初年度7万円、翌年度3万円を助成します。

活動集団の指定：申込みに対してその内容を審査し、指定します。

募 集 開 始：4月中旬～6月末



指定決定した団体には、より良い活動となるよう専門委員からのアドバイスが受けられます。



令和3年度コミカレ修了! 今後の活躍を期待します



通算42回目となるコミュニティカレッジが12月11日に終了しました。

会場参加とリモート参加のハイブリット講義で開催し、子育て中の方も参加できる利点もある反面、リモートでのワークの難しさなど課題もありました。

令和3年度は申込者29人の内23人が修了し、昭和55年からの修了者2,353人となりました。



スポーツ安全保険

文化活動も
加入出来ます

対象となる事故

団体活動中の事故／往復中の事故

保 険 期 間

令和4年4月1日の午前0時から令和5年3月31日午後12時まで



公益財団法人 スポーツ安全協会 静岡県支部

TEL 054-262-3039

電話受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。
スマートフォンからもお手続きできます。

スポーツ安全保険

検索